

平成 24 年 1 月 17 日

Yurtec 成長戦略 2020ビジョン 『深化と挑戦』 概要

■はじめに

本来、2020ビジョンは、平成 23 年 4 月に社内に表示する予定でございましたが、3 月 11 日に東日本大震災が発生したことを受け表示を延期し、これまで被災地域の復旧に優先的に取り組んできました。

震災後、10ヵ月あまりが経過し、震災後の経営環境の変化を踏まえたビジョンの取り纏めができたことから、去る 1 月 4 日に全社員に表示を行いました。

■2020ビジョン策定の背景

当社は、平成 3 年（1991 年）に東北電気工事からユアテックに社名変更するにあたり、21 世紀初頭のあるべき姿を描いた将来像として、「21 世紀ビジョン」を策定しました。このビジョンは、ユアテックという新社名のもと、21 世紀へのチャレンジといった期待・希望とバブル経済による右肩上がりの成長期という時代背景の中、事業領域を拡大しながら「総合設備エンジニアリング企業」として、なお一層の飛躍・発展を期するため、2001 年度の当社のあるべき姿や企業理念・経営方針を定めるとともに、事業目標として売上高 5000 億円の達成を掲げたビジョンでありました。

しかし、ビジョン策定後数年でバブル経済が崩壊するなど、経営環境が大きく様変わりしましたが、その後は新たなビジョンを策定せず、中期経営計画の策定とのローリングにより企業体質の強化に向けた努力を継続してまいりました。

現在では、少子高齢化に伴う国内マーケットの成熟化や縮小化、消費者ニーズの多様化の進展、そして世界的な経済不安による為替・株価の変動、国内産業の海外シフトと空洞化、そして東日本大震災の発生など、これまでの延長線上では対応できないような大きな時代の潮流に社会経済全体がさらされております。

このような予想を超えて変化する経営環境の中、今後とも、当社が持続的成長を果たしていくためには、長期的な経営の方向性を全社員が共有し、目標に向かって挑戦していくことが重要であるとの認識から、2020年に当社が目指すべき姿をイメージした長期ビジョンを策定することとしたものであります。

■2020ビジョン「深化と挑戦」概要

本ビジョンは、「お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、社会の発展に貢献します」という企業理念を踏まえ、「ライフラインのトータルサポート」という当社の変わらぬ使命を果たしながら、売上高の大幅な増加が望めない状況下においても、従業員一人ひとりの成長を軸に、内部からの利益創出ができる企業体質を実現していこうというものです。

10年後に目指すべき姿を『お客さまと地域から信頼され、選ばれ続けるとともに従業員が夢と誇りを持てるユアテック』と定め、「現場力・職場力の向上」「グループ一体型経営によるさらなる効率化」「挑戦できる『場』の拡大」という3つの成長戦略、そして7つのアクションプランを展開し、ビジョンの実現を図ってまいります。

ビジョンタイトルの「深化と挑戦」とは、これまで培ってきたもので継続強化すべきものは「深化」させ、同時に新しい可能性に「挑戦」するという意味を込めています。

また、今回ビジョンの中に、社員にその戦略を常に意識できるように、あらたにコーポレートスローガンを設けて「お客さま・地域との感動の共有 ライフラインのトータルサポーター Yurtec」と決めました。

当社は、東北電力(株)の電気設備をはじめ、各種施設の電気設備・空調管設備・給排水衛生設備・情報通信設備といったライフラインの建設・維持・修繕を一括して担っていることから、ライフラインのトータルサポートが当社の使命であると考えとともに、安心・安全・快適な日常生活を支え続けるという変わらぬ使命をはたすことで、お客さま・地域の皆さんとともに、感動を共有し、地域と共に発展していく企業でありたいとの思いを表現したものであります。

東日本大震災からの復興のためにも、全社一丸となって「ライフラインのトータルサポート」という当社の使命を果たすことで、お客さま・地域の皆さんとともに、この難局を乗り越えていきたいと考えております。

なお、本ビジョンの策定にあたっては、全従業員の英知と意思を集結させたいとの考えから、「2020ビジョンへの提案書」という形で、全従業員から具体的な提案や意見を募集した結果、約700件の提案が寄せられ、これらも内容に反映しています。

今後、ライフラインのトータルサポーターとして、ユアテック企業グループが一丸となって、震災からの復興に全力で取り組みながら、2020ビジョンの実現に向けた諸施策を展開して参りたいと考えております。

以 上